



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月3日

上場会社名 和弘食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2813 URL <http://www.wakoushokuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和山 明弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 市川 敏裕 TEL 0134(62)0505
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,110	12.4	93	△62.4	82	△66.3	△20	—
28年3月期第3四半期	5,438	16.7	248	18.4	243	△34.8	107	△44.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 32百万円 (△70.2%) 28年3月期第3四半期 110百万円 (△58.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△2.55	—
28年3月期第3四半期	13.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	7,707	4,144	53.8
28年3月期	6,752	4,152	61.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,144百万円 28年3月期 4,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,654	8.1	29	△81.6	7	△94.7	△96	—	△11.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	9,493,193株	28年3月期	9,493,193株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,306,015株	28年3月期	1,305,105株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	8,188,075株	28年3月期3Q	8,188,225株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで平成29年2月3日（金）に開示し、同日当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策・金融政策の効果もあって、穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済においては、大統領選挙を終えた米国経済の動向や中国をはじめとする新興国・資源国経済の動向等については依然として不透明感が続いております。

こうした状況の中で当社グループは、「新たな成長ステージに向けた企業体質の改革」の方針のもと、中期3か年経営計画最終年度の仕上げを合い言葉に、引き続き業務用調味料市場の開拓、拡大に注力するとともに、生産性の向上に向けて、人材の育成や原価管理の強化に注力してまいりました。

①売上高

売上高は、6,110百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

国内市場においては、第2四半期連結累計期間に引き続き、別添用スープは現状維持を図りつつ、外食市場および中食市場向け業務用調味料の販売が好調に推移し、業務用製品の売上高は前年同期比22.3%増となりました。加えて、仕入商品の販売も引き続き好調で前年同期比18.3%増で推移いたしました。

一方、海外市場においては、米国工場の稼働から1年が経過し国内同様に業務用調味料の販売が好調で前年同期比292.7%で推移いたしました。

②営業損益

営業利益は93百万円（前年同期比62.4%減）となりました。

その主な要因は、国内においては生産性の向上に注力したものの前事業年度後期に実施したコスト競争力強化や販売拡大に伴う生産能力強化のための人員の増加、生産設備の増強により売上原価を押し上げる結果となりました。一方、海外においては、米国工場の稼働に伴う減価償却費の発生、人件費の増加などにより減益となりました。

③経常損益

経常利益は82百万円（前年同期比66.3%減）となりました。

その主な要因は、営業利益の記述に加えて為替差益が減少し為替差損が発生したことにより減益となりました。

④親会社株主に帰属する四半期純損益

親会社株主に帰属する四半期純損失は20百万円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益107百万円）となりました。その主な要因は、経常利益は確保は出来たものの固定資産除売却損等の計上および親会社に係る法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額の計上により減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における1株当たり四半期純損失は2.55円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ955百万円増加し7,707百万円（前連結会計年度比14.1%増）となりました。これは主に、有価証券の減少250百万円があったものの、現金及び預金の増加504百万円、受取手形及び売掛金の増加489百万円があったことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ963百万円増加し3,562百万円（前連結会計年度比37.1%増）となりました。これは主に、短期借入金の減少330百万円があったものの、買掛金の増加479百万円、長期借入金の増加847百万円があったことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し4,144百万円（前連結会計年度比0.2%減）となりました。これは主に、為替換算調整勘定の増加53百万円があったものの、配当金の支払40百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上20百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,093千円増加しております。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	741,151	1,245,901
受取手形及び売掛金	1,207,842	1,697,511
有価証券	250,148	23
商品及び製品	323,515	364,460
仕掛品	5,464	6,554
原材料及び貯蔵品	277,240	370,487
その他	98,818	70,831
貸倒引当金	△599	△827
流動資産合計	2,903,581	3,754,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,919,236	1,900,448
機械装置及び運搬具(純額)	613,574	608,848
土地	730,042	732,658
建設仮勘定	—	397
その他(純額)	249,399	349,570
有形固定資産合計	3,512,252	3,591,923
無形固定資産	11,850	10,127
投資その他の資産	279,663	321,283
固定資産合計	3,803,766	3,923,334
繰延資産	44,847	29,007
資産合計	6,752,195	7,707,284
負債の部		
流動負債		
買掛金	729,149	1,208,165
短期借入金	330,000	—
1年内返済予定の長期借入金	212,500	462,492
未払法人税等	93,689	48,461
賞与引当金	156,000	71,000
その他	417,309	405,863
流動負債合計	1,938,649	2,195,982
固定負債		
長期借入金	346,875	944,802
役員退職慰労引当金	136,751	145,285
その他	176,979	276,534
固定負債合計	660,606	1,366,622
負債合計	2,599,255	3,562,604

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,413,796	1,413,796
資本剰余金	1,376,644	1,376,644
利益剰余金	1,573,733	1,511,884
自己株式	△232,471	△232,716
株主資本合計	4,131,703	4,069,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,756	19,225
為替換算調整勘定	2,480	55,844
その他の包括利益累計額合計	21,236	75,070
純資産合計	4,152,940	4,144,680
負債純資産合計	6,752,195	7,707,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	5,438,115	6,110,581
売上原価	4,024,947	4,773,395
売上総利益	1,413,167	1,337,185
販売費及び一般管理費	1,165,163	1,243,936
営業利益	248,004	93,249
営業外収益		
受取利息	160	32
受取配当金	1,462	1,693
受取賃貸料	2,703	2,193
受取保険金	3,903	2,258
為替差益	4,969	—
その他	6,428	3,808
営業外収益合計	19,627	9,985
営業外費用		
支払利息	3,816	2,824
開業費償却	18,202	16,028
為替差損	—	2,172
その他	1,903	98
営業外費用合計	23,922	21,123
経常利益	243,709	82,112
特別利益		
固定資産売却益	—	49
特別利益合計	—	49
特別損失		
固定資産除売却損	1,663	4,697
減損損失	—	934
特別損失合計	1,663	5,631
税金等調整前四半期純利益	242,046	76,530
法人税、住民税及び事業税	118,290	60,067
法人税等調整額	16,149	37,371
法人税等合計	134,439	97,438
四半期純利益又は四半期純損失(△)	107,606	△20,908
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	107,606	△20,908

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	107,606	△20,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,158	469
為替換算調整勘定	△7,301	53,364
その他の包括利益合計	2,857	53,833
四半期包括利益	110,464	32,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,464	32,925
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。